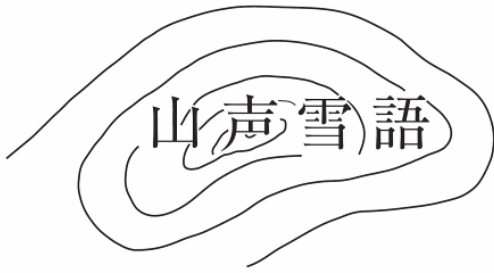


# 京交山岳部報

## 例会予告（2017年10月～11月）

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2769回 点名「荒木村」 (2等△403.4) 点名「下荒木」 (3等△233.6)	10月5日(木) 集合 参加者で調整	吉田 武	京都～新名神信楽IC～R307本郷～ R422桜峠～伊賀上野市 R163荒木～ 桜ヶ丘団地～登山口・・・「荒木村」往復 ・・・「下荒木」往復～帰路
備考 日帰り装備			
第2770回 府民秋の自然観察会 (岳連自然保護委員会主催) 男山・石清水八幡宮 のきのこ	10月7日(土) 集合 AM9:30 京阪八幡市 駅前広場	方山宗子 岡田茂久	八幡市駅～こもれびルート～鳩ヶ峰～ 本殿～男山展望台～裏参道～七曲り～ 一ノ鳥居～八幡市駅 15時頃解散予定
備考			
[持ち物] 日帰り登山装備, 筆記用具, 行動食, 雨具, 登山靴が望ましい。			
[参加費] 500円(参考資料代他) ※小中学生は無料(保護者同伴のこと)			
[講師] 関西菌類談話会会員 佐野修治氏			
[天候] 前日18時以降のNHK TV天気予報で, 1日午前の降水確率60%以上の場合は中止。 不明の場合は担当者にお問い合わせください。			
[申し込み締め切り] 平成29年9月25日(月曜日)までに担当者まで連絡してください。 「やわたのはちまんさん」の名で親しまれている石清水八幡宮。 社名は, 男山の中腹に湧き出ている霊泉「石清水」に因んだものと伝わっています。 平成27年10月16日の文化審議会において, 古代に成立した荘厳な社殿形式を保持しつつ, 近世的な装飾を兼備した完成度の高い神社建築として, 高い価値を有していることが評価され, 国宝へと認定されました。現在の社殿は徳川三代将軍家光の寄進によるものです。 鳩ヶ峰から厄除けの神社としても名高い八幡様をハイキングし, いろいろの秋のきのこを観察 しましょう。 是非一度山岳連盟自然保護観察会に参加してみませんか。きっと新しい世界が開けますよ。			

第2771回 北信・上信越の山 苗場山と破風岳・ 土鍋山・笠ヶ岳	10月14日(土) ～17日(火) 集合 18:00 場所 参加者で調整	山下幸宏	14日 19:00 京都市内出発～(名神・ 中央・長野・上信越道)～豊田飯山 IC～小赤沢登山口3合目駐車場(泊) 15日 6:15 出発・・・苗場山往復・・・ 下山 15:00～切明温泉に泊 16日 8:00 前出発～毛無峠登山口・・・ 破風岳・土鍋山～志賀高原に泊 17日 笠ヶ岳登山, 帰洛
備考 切明リバーサイドホテル, 志賀高原一望閣に泊まる予定です。			
第2772回 丹波 妙見山 白山	11月3日(金・祝) 集合 AM8:00 場所 竹田駅西口	井戸澄夫	竹田IC(京都縦貫道)千代川IC～ R372～R175～住吉神社 ・・・白山・・・妙見山・・・住吉神社～ 帰路(温泉入浴)
備考 紅葉の里山を楽しみます。			
第2773回 府民 秋の自然観察会 (岳連自然保護委員会主 催) 紅葉観察会	11月23日(祝) 集合 AM9:30 場所 JR 大山崎駅 前広場	方山宗子 ( 岡田茂久 (	JR山崎駅～山崎聖天～旗立松～ 酒解神社～天王山山頂～天王山縦走路 ～十方山(三角点)～大山崎山荘美術 館
備考 [持ち物]日帰り登山装備, 筆記用具, 行動食, 雨具, 登山靴が望ましい。 [参加費]500円(参考資料代) *小中学生は無料(保護者同伴のこと) [講師] 日本山岳会SC協会認定 自然保護指導員 尾松建二委員 中島睦美委員 [天候] 前日18時以降のNHKTV天気予報で, 26日午前の降水確率60%以上の場合は中止。 不明の場合は担当者(自然保護委員)にお問い合わせください。 [申し込み締め切り]平成29年11月16日(金曜日)までに担当者まで連絡してください。 *是非一度山岳連盟自然保護観察会に参加してみませんか。きっと新しい世界が開けますよ。			
<b>10月の集会</b> 日時 10月11日(水) 18:30～ 場所 holly's café(ホリーズ カフェ)		<b>10月の企画運営委員会</b> 日時 10月18日(木) 18:30～ 場所 holly's café(ホリーズ カフェ)	
<b>11月の集会</b> 日時 11月8日(水) 18:30～ 場所 holly's café(ホリーズ カフェ)		<b>11月の企画運営委員会</b> 日時 11月22日(水) 18:30～ 場所 holly's café(ホリーズ カフェ)	



北朝鮮がミサイルを何度も日本海に向けて発射している。日本列島を越えて太平洋にまで到達したICBM（大陸間弾道ミサイル）もある。また水爆の核実験にも成功したという。ICBMに核弾頭を搭載すれば、アメリカ本土に到達して一瞬にして何十万の人命を奪う恐怖の武器となる。北朝鮮は国連や国際社会からのミサイル発射や核実験を止めろという批判など意に介する気配はない。金正恩は軍事力の強化などよりも、為政者としてやらねばならないことがあるはずだ。北朝鮮の人々の生活は一時の飢餓状態から少しは改善してきているようであるが、いまなお厳しい経済状況である。独裁者である金正恩の命令に従うしかない北朝鮮の人々はいかにかわいそうである。小生の若き頃の理想だった共産革命の行き着いた果てがこれか？と思うと実に情けない。徹底した粛清と抑圧で反対勢力は消滅しており、周りはすべて太鼓持ちという状況では、指導者自らが体制の行き詰まりを悟り悔い改めるしか改善の方法はないであろう。ソ連は指導者の主導で体制が変わった。中国も共産党独裁体制は維持しながら、経済は資本主義というだれもが経験したことの無い方向に向かった。いつかは北朝鮮の体制も変わると思う。その日を待たねばならない北朝鮮人民がいっそう哀れである。

8月24日～25日に富士山に登った。吉田口から夕方7時に登り始めて、山頂に到達したのは朝7時であった。途中九合目で大休止してご来迎を迎えたとはいえ、トータルで実に12時間もかかった。7月の南アルプスで、急坂を登った時心臓の動悸が激しくなり、途中何度も休息しながら登り、通常のコースタイムの1.5倍もの時間がかかった。不安になって京都駅前の武田病院で精密検査をしてもらったが、心臓に特段の異常はないという診断であった。今回の富士登山では、心臓の動悸が激しくならないようゆっくりと登ることにした。おかげで心臓パクパクにはならなかったが、時間的には平均の1.5倍くらいかかっていると思う。あまりの遅さに女房もあきれていた。そもそも今回、富士山に登ったのは、来年2月にキリマンジャロに登るつもりで、そのトレーニングのためである。キリマンジャロの山頂アタックの夜行登山（標高差約1,000m）を想定して、富士山頂まで、途中で小屋に仮眠することなく夜通し歩くつもりであった。しかし一応標高差1,400mを登り切ることはできたが、時間がかかりすぎており、これではキリマンジャロに登るのは難しそうである。しかし既にキリマンジャロ空港までの17日間の航空券は購入しており、キリマンジャロは登れずにサファリだけを楽しむことになるかもしれない。9月末にCT血管造影検査を受ける予定である。母親も兄貴も大動脈解離や大動脈瘤を経験しており、そろそろ自分の順番かもしれない。

7月8日に逝去された渡邊智生氏を偲んで、山岳部有志が9月9日に渡邊氏の自宅を訪ねて奥様にお悔やみを申し上げるとともに、遺影の前で故人との思い出を語り合った。渡邊氏は小生より

13歳年上であったが、体力的には小生よりもはるかに強かった。2月に雪の北山に元気に登っておられたのに、病の進行の速さが信じられない。多くの山にご一緒させていただいた。山行途中で楽しそうにスケッチされておられた姿が懐かしく思い出される。今はただありがとうございますという気持ちで一杯である。

(2017. 9. 20. 記 文責 S. I.)

【第2766回例会】H29.9.14

## 南宮山 二等三角点 419.0m

吉田 武

京都を朝9時に出発、名神高速道を関ヶ原ICまで101Km、ナビで山麓まで11時半に大谷池に出る。ナビ通りに11時20分に大谷池のダムサイドに到着。身支度をしてダムサイドから林道を約1200m程歩くと林道も消えて、かすかにテープが1か所だけしてある。標高300m位からは道なき道を稜線に向かってガレ場を登るが、急斜面と雨烈のために崩壊が進んでいるところを登るが、僕の心臓が悲鳴を上げている。

あと100mが登れない、何度も休憩したが、だめだ。仕方なく下山した。また今回も登れずじまいか・・・帰路、南宮大社にお参りして帰った。

【参加者】 他1名



池から南宮山



林道脇の古木



南宮寺山門

## 甲斐駒ヶ岳（黒戸尾根）

烏丸 山下 幸宏

「黒戸尾根」は、歩く距離が長い、体力が相当なければ登れないと私の頭の中に植えつけられていた。先輩である中山氏に数年前から登ろうと誘われていたが、中々イエスと言えず、ちょうど一年前に行く決断をした。理由は、体力が少しでもあるときでなければ行けないと思ったからだ。また、この甲斐駒ヶ岳には、2010年9月に北沢峠から一度登っている。今回は、古傷の痛みが出ないようストレッチしたり、また万全の態勢で登りたいので、10日前から禁酒した。（禁酒の理由は他にもあるが）

9/8 17:50 銀閣寺道で中山氏と合流、東 IC から小淵沢 IC を目指すが、途中諏訪湖 SA で約 80 分時間調整。そして 9/9 0:02 小淵沢 IC を出る。竹宇神社手前駐車場に 0:40 到着し、久々のビールを飲み車中で仮眠した。

5:30 出発、天候晴れ。17℃ 神社で安全祈願し、尾白川にかかる吊橋を渡って登り出す。いつも通り私一人だけ大量の汗をかきながら笹ノ平分岐に着くが、この地点まで約 20 人くらいの単独登山者（トレランも含む）にごぼう抜きされた。まるで新幹線のように早く、また F1 レースを観戦しているみたいに速く登って行く。念のために持参した GPS の調子が悪い。太陽フレアの影響ではないかと思ったが、笹ノ平を抜けると元に戻った。ここからしばらく熊ザサに囲まれ、傾斜も緩い登山道で歩きやすかった。その後うんざりする長い登りが刃渡りの岩場まで続く。周りの山は、ガスで白くなり見えず。そして刃渡りには、鎖が設置されており、安全のため鎖を握って通過した。やがて刃利天狗で急登は止み黒戸山を巻きながら下り道を歩き、鞍部少し手前の五合目小屋跡で小休止。この鞍部から先は要所要所にハシゴや鎖があり、安全に通過することができた。

七丈小屋手前の角度のあるハシゴを登りきって 12:10 に七丈小屋到着。一日目はここまでとする。宿泊手続きの前に持参したビール類を先に水で冷やしておき、小屋横にあるテラスで飲む頃にはちょうど冷えている。ビール、チューハイ各一本飲みながら、干物を炙って食べる。目の前に見えるはずの鳳凰三山はガスで見えず残念。夕方にはきっとガスがきれ見えると確信していた。その後、ゆっくりテラスでくつろぐ。他の登山者と会話するが、私は口下手なので話を聞いているほうが好きだ。静岡から来た 70 歳代男性 3 人の方々は楽しく話せた。また、その横に若くて綺麗な一人の女性が突如来た。いわゆる「山ガール」である。黒戸尾根に単独で登るのは、山に対する情熱、特別な思いがある人だと感じた。私は緊張して話かけることが中々出来なかった。

17:00 夕食の時間となり、鳳凰三山と富士山も予想した通り見えた。食事は何が出るのだろうかと思っていたが、カレーと言う意見が多かった中、意外と海老フライとハンバーグであった。結構うまかった。白ご飯は地元白州米でこれもうまかった。食事中には、小屋の人と土、日曜だけ来る医療関係者が高山病の予防法やハチに刺された場合の対処法を説明してくれた。そして消灯は 20:00 であるが、早めに横になったがその後、満員状態で寝がえりも出来ず、おまけに暑い夜中まで結局寝られなかった。深夜うとうとしたら職場の上司に叱られている夢をみて 3:00 頃目覚めた。かなり不快な目覚めであったが、気持ちを直して 9/10 4:30 ヘッドライト点灯して出発。この先ハシゴ、鎖を頼りに岩の狭間を縫うように急登が続く。ハイマツやダケカンバが増えていい雰囲気である。そして八合目の御来迎場には、日の出 5 分前に着いて雲が多かったがまずまずの朝焼けであった。ここから先は岩だけになり、剣の刺さった岩を見ながら登り進み、6:45 甲斐駒ヶ岳

(2967m)に着いた。山頂はガスで白かったが仙丈ヶ岳が一瞬見えた時に記念写真を撮った。先日、出会った女性も同じペースで登ってきたので、シャッターを押してもらい、20分程楽しんで往路を戻る。やはり下りの鎖場は、若干ディフィカルトであり少し時間がかかったが、安全に通過し、下りでも一人だけ大量の汗をかき、中山氏らに笑われながら予定通り竹宇神社 13:30 下山した。神社でお札を言い、駐車場まで戻ったが、神社にストックを忘れ、取りに戻ったので少し時間ロスして迷惑をかけた。そして下りを一緒に歩いてもらった女性を「べるがの湯」まで送り、道の駅白州で水をいただき、諏訪湖畔「ホテル鷺ノ湯」に宿泊、翌日帰京した。

今回の黒戸尾根、思っていたほど危険な箇所もなく、コースタイム通りに歩き、無事下山することができて良かった。また、ヤマレコ等の情報は、かなり大げさであり、参考にはならないことが自分の足で歩いて判明した。そして素晴らしい「山ガール」に出会うことが出来た。

【参加者】 山下 幸宏 他 1 名

※コースタイム

- 9/9 駒ヶ岳竹宇神社 5:30・・・12:15 七丈小屋
- 10 七丈小屋 4:30・・・6:45 甲斐駒ヶ岳 7:10・・・8:50  
七丈小屋 9:10・・・13:30 駒ヶ岳竹宇神社



## 例会報告(まとめ)

例会 No.	目的地	天候	月 日	担当者	参加者	記 事
2766	大垣市 南宮山	晴れ	平成 29 年 9 月 14 日 (木)	吉田 武	他 1 名	別稿詳報
2767	加賀大日山	雨	平成 29 年 9 月 16 日 (土) ～17 日 (日)	井戸澄夫		台風襲来のため中止しました。

# 雑 報

## △△△ 9月の集会

日 時 9月13日(水) 18:30～  
場 所 holly's café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)  
出 席 者 井戸, 岡田茂, 方山, 吉田, 和田, 清水 6名  
内 容 例会結果, 例会予告, 個人山行, 岳連関係報告ほか

## △△△ 8月の企画運営委員会

日 時 8月23日(水) 18:30～  
場 所 holly's café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)  
出 席 者 井戸, 吉田, 方山, 清水  
内 容 例会予告, 岳連関係報告ほか

## △△△ 他山岳会の会報(受贈分)

9月号 京都山岳, 趣味の登山, 比良山岳, 木雞

## △△△ 部報投稿について

部報投稿は部報編集担当者(井戸: 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)へ毎月20日までをお願いします。

## △△△ 平成29年度部費について

平成29年9月20日(水)現在, 先月号までに報告した方々に加え, 次の方から平成29年度部費を受領しましたので報告します。

(敬称略) 井戸澄夫, 室谷和彦

## 部 員 名 簿

平成29年10月1日現在

### 〇 B

坂井 久光 鷺見 壽末子  
河村 清 石川 かず榮  
津田 實 木原 滋  
岡田 茂久 澤井 佳三  
大槻 雅弘 和田 良一  
大倉 寛治郎 小森 浩  
吉田 武 岡本 勇  
井戸 澄夫 方山 宗子  
森本 清一 篠田 勝美

### 交通局

山岡 昭弘  
足立 公弘  
廣瀬 光太郎  
桂 豊  
岡本 義弘  
大野 滋久  
山下 幸宏  
松浦 健一  
岡田 浩一  
井上 恭彦

### 市役所

山口 雅直  
堀田 剛  
清水 康裕

# 《新入部員募集中》

平成29年10月1日

京都市右京区太秦下刑部町18

京都市交通局内

## 京 交 山 岳 部

<http://kkmc.web6.jp>